



発行者  
文京学院大学  
女子中学校  
南部 和彦

### より良き社会の形成者として

中学校代表 南部 和彦

新学年がそれぞれに始まり、一月半が過ぎました。四月のスタートダッシュも快調に、各学年が動き始めました。上級生に囲まれた一年生も文京での学校生活によりやく慣れてきました。

文京は今年で創立八十九年を迎えます。「自立と共生」を掲げ、社会に貢献できる人材の育成に長く取り組んできました。本校で学んだ多くの卒業生は社会のさまざまな分野で活躍しています。

校訓である「誠実・勤勉・仁愛」は長く本校における全教育活動の指導の基本として受け継がれてきました。中学校の段階は、より良き社会の形成者としての土台づくりの時期と考え、基礎・基本の修得をまず第一としています。そのためには基本的な生活習慣をしつかりと身に付けることが大事です。

具体的には自ら次のような行動を日々意識し、実践していかねばなりません。

①挨拶・返事・場に応じた言葉遣いがしつかりできるようにする。気持ちの良い挨拶や返事、言葉遣いは互いの心を開かせます。

②学校生活における集団規律を身につけるルールを守る。登校時刻を守ったり、チャイム着席や提出物の期限厳守など、集団の一員としての自覚は社会人としての基本となります。

③常に環境美化を意識して生活する。一人ひとりの心がけて教室や学校がみちがえる程きれいになりあわせて心も美しくきれいになります。

④思いやり、優しさ、助け合う心が生きる生活づくりを心がける。簡単なことのように実践するのは容易なことではありません。日々精進して自らにその実践を課して欲しいと思います。

より良き社会の形成者となるために一人ひとりが、尊敬と信頼を得て、しかも品位ある女性となるよう常に「こころがけ」努力をしてください。

### 体育祭の練習で学んだこと

三年桃組 村山 咲乃

中学最後の体育祭、クラスのみんなが真剣に練習に励んでいました。部活や塾で疲れて遅く家に着く人も、次の日の早朝練習には目をこすりながら参加していたのだと思います。私自身、大縄跳びはとても苦手でした。でも練習のたびにうまく飛び続けるアドバイス（足を高く上げすぎたことを気付かせてもらったり）や、跳ぶ時にはリズムを声に出して言い続けてくれたり、続けて跳べた時には、喜んでくれるクラスメイトに励まされ、自分で作っていた限界を超えることが出来ました。

ダンスの練習では右を見ても、左を見ても、皆の真剣な表情に影響され、私も今までの一番真剣に練習に取り組みました。筋肉痛が続く日々で小テストなどもあり、体育祭を迎える前にすでにへとへとだったはずの桃組は、それでもみんな明るく笑顔でした。『毎日の記録』での一言日記で、体が痛いところばした文句を書いた時には、担任の先生の共感してくれる優しい一言に明日も頑張らなきゃと気持ちが一变します。

そして緊張する当日、体育祭本番を迎え、一つ一つの競技にすべて満足のいく結果が出せたわけではなく、いけれど、みんなが今までの全力を發揮し、応援し合えた事は確かです。結果発表、学年優勝三桃、最高得点学年色別グリーンブロックと映し出された時は、みんなで最高の声をあげて喜ぶことが出来ました。『勝ち負けよりも楽しむ気持ちで』と練習の時にクラスメイトが言ってくれた一言を思い出しました。そういう気持ちで取り組めたからこそ、この結果が出せたのだと思います。

私は体育祭に向けての練習の過程で、助け合いや協力という大切なことを感じる事が出来ました。『助けあい』と『協力』があればどんな事もみんなが、頑張れると思えました。



### 私たちの努力と団結

二年桃組 篠原 茉優

五月七日、私は文京生として、二回目の体育祭を迎えました。今年は文京の伝統、集団演技の「ミッキー」を踊ります。

中一の後半から、この集団演技の練習を体育の授業でしてきましたが、私はあまり上手に踊れず、皆についていけずにあせっていました。私はあまりに下手で、練習を見学に来てくださった先生方から、注意やポイントを教わりながら練習をしてきました。体育祭直前の最後の練習でも踊りきることができませんでした。体育祭当日、出番の直前、同じクラスの人は、私が踊りきれない事を知っているのに、みんな「頑張れ」と応援してくれました。しかし、本番で納得のいく踊りではありませんでした。

そこで、私は「一休さん」と「クラス対抗リレー」で挽回する事を決めました。しかし「一休さん」は一番目で、私のペアは練習よりスタートが遅くなってしまい、不本意な結果になりましたが、私の後に続くペアの皆が頑張ってくれて、一位になることができました。

クラス対抗リレーでは予選で一位になり、本選出場を決めることができました。この結果もクラスからの応援のおかげだと思います。応援をし過ぎて声がかれてしまった人もいました。でも、その声が私たちをリレーの本選へ導いてくれました。

本選は惜しくも二位で、中学三年生に負けてしまいました。でも、リレーのメンバーの団結力はどのクラスにも負けなかったのではないかと考えています。

ブロックでは優勝は逃してしまいましたが、クラスは学年で一位をとる事ができました。これは練習の成果が出せたからだと思えますが、それ以上にクラスの団結力がとても良かったのだと思っています。この努力と団結力を合唱コンクールなどでも出せると良いと思えます。

私は今年の体育祭で、一体感を感じることが出来、とても嬉しかったです。



### スプリングキャンプに参加して

一年栗組 黒馬 優美子

私たち、中学一年生は、四月二十一日から四月二十四日まで、スプリングキャンプで山梨県に行きました。まだ入学してから三週間しかたっていないので、慣れない友達と行き、とても緊張しました。

スプリングキャンプでは、他のクラスとのレクリエーションや、各クラスでのレクリエーションなどをしました。他のクラスとのレクリエーションでは、まだ話をしたことがない人たちと自己紹介をしたので友達が増えました。また、各クラスでのレクリエーションではクラスメートビンゴを行ったりしてより仲が深まりました。

しかし、二日目あたりになつてくると五分前行動も守れなくなり、先生方に叱られました。でも先生方に叱られてからは早く集合出来るようになり、残りわずかの日々を楽しく過ごすことが出来ました。

私たち、中学一年生は、このスプリングキャンプでたくさんのお話をすることが出来ました。

女性としてのマナー、友達と協力し合うこと、集団生活のルール、学校生活に必要なことなど、とても重要なことを学び、そして成長することが出来ました。そして私たち中学一年生は、この貴重な経験をいかして、これからの中学校生活を送りたいと思います。

